

ひと ひと

女と男の情報紙

# 笑がお



ある日のことでした。

買い物をした帰り、細い道を自転車で走っていると、高校生らしき若いカップルが筋を歩いていました。

道幅は狭くて、大人二人が並んで歩くと、横を通りぬけることができないほどでした。

私は一瞬迷いました。自転車のベルを鳴らそうか、それとも声をかけようか。

でも、後ろから見れば男の子はかなり身体が大きいかつい感じがします。

「ちょっと恐いな。そんなに急ぐわけでもないし、道幅が広くなるまで自転車をおりておしいこうか」と思い直しながら、

心の隅には「もうっ。若くたって周りに気をつけて、サッサと歩いてよ!」という気持ちが湧いていました。

と、その時。

男の子が後ろにいた自転車の私に気づいて、「すみません。どうぞ」と身体をななめにして道を譲ってくれたのです。

しかも、ふり向いた彼の顔にはさわやかな笑顔が浮かんでいます。

横の女の子も、はっと気がついた様子で男の子に続いてくれました。

予想外の展開に、私も思わずにっこりしながら「ありがとうございます」と会釈して、その場を通り抜けました。

心の中には彼らに対する感謝と大いなる恥ずかしさが混在していました……。

街でふとすれ違う人たちのこんな「笑顔」のやりとり。一つでも多く生まれますように。

みんなが笑顔でいられるために……

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか?

# イキイキ笑顔人

自分らしく  
輝いている人見つけた。



♪♪♪♪

声も、心も、もっと自由に！

ゴスペルの魅力を、多くの人に伝えたい。

♪♪♪♪

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。幼い頃から、歌うことが大好きな、阪本理恵さんと瑠美さん姉妹。そろって音楽の道へ進み、現在はゴスペルの指導者として活躍中です。二人の「笑顔」は、何だかとてもイキイキしています。そのわけを語ってもらいました。

ファイルNo.4： 阪本 理恵(姉)さん33歳  
阪本 瑠美(妹)さん29歳<写真左>  
姉妹ともカルチャースクールの人気講師。ゴスペルのほかに、ボイストレーニング、トランペットなども教える。吉川在住。父母と4人家族。

## 音楽がいつも流れている家庭で

理恵:私も妹も、音楽好きの母の影響をかなり受けていますね(笑)。母は赤ちゃんだった妹を背中におぶって、エレクトーンのレッスンに通っていましたから。家には、いつも音楽が流れていて、幼い頃から見たり聴いたりしたこと何でもメロディにのせて歌っていました。

瑠美:お風呂でも、姉と二人でよくデュエットをしましたよ。あみんの『待つわ』とか(笑)。音楽の教科書をかたっぱしから歌っていると、いつのまにか母が一緒になって…なんてことも度々ありました。

## 吹奏楽部で始めたトランペット

理恵:中央中、越南高と吹奏楽部でした。身体が小さいという理由で持たされたトランペットにのめりこみ、東邦音大に進学。周りには私より上手いばかりで、入学当初は多分ビりに近い成績だったと思います。克服するには練習しかない、休みもないくらいずっと学校に通って練習を重ね、卒業時にはその年度のトップ演奏者としてヤマハの新人演奏会に出演できて、自信になりました。

瑠美:私も、中央中、松伏高、東邦音大とトランペットに専念しました。練習を苦しいと思ったことはなくて、吹いているのが楽しくて仕方がない。先生によく「お前は鬼のように練習してくるな」と呆れられていました(笑)。

## ゴスペルと出合って

理恵:歌を歌い始めたのは、就職した楽器店の仲間とバンドを組んだことがきっかけでした。その後、亀淵友香さんが率いるゴスペルコーラスグループに魅かれて一年半ほ

ど演奏活動に加わり、人前で歌うことの気持ち良さを味わいました。

瑠美:私も市内で小学校の特別支援員として働きながら、音楽を続けていく方法を模索していました。そんな中、姉とのユニットでコンサートを開いたり、友人達とコーラスグループを組んでイベントに参加したりと、活動の幅を広げていきました。

## みんなと一緒に成長したい

理恵:現在、私も妹もカルチャースクールで多くの生徒さんに教えていますが、ゴスペルの魅力は歌っているうちに心も身体も解放されて自由になっていくことです。「神様に感謝しよう!」という気持ちを歌詞とリズムとダンスで表現していくうちに、カラが破れて「楽しい!」気分が満ちてくる。だから、レッスンをしているうちに、みんなイキイキした笑顔になってくるんですよ。

瑠美:腹式呼吸ですから健康にもかなりいい(笑)。学生から70歳を越える生徒さんはみんな元気ですね。練習の成果で美しいハーモニーになっていくのが、講師として一番嬉しいことです。

理恵・瑠美:私達の夢は、自分たちも成長しながら、もっと多くの人にゴスペルの良さを伝えることです。吉川市内でも今後、ゴスペルを歌ったり聴いたりする機会をどんどん増やしていきたいですね。

10/5(日)開演13:00~

ゴスペル ライフ「ファーストコンサート」

総勢150人を超えるゴスペルコーラス。圧巻です。

越谷サンシティホール(大ホール)

チケット:大人900円、子供500円

## 「全国男女共同参画フォーラム」開催のお知らせ

ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）をメインテーマに、ゲストによる対談や市民による企画運営の分科会のほか「よこはまグッドバランス賞～働きやすく子育てしやすい事業所～」の認定・表彰式などを行います。同時開催の「フォーラムまつり2008（主催：男女共同参画センター横浜）」では、スタンプラリー、模擬店、フリーマーケットなど、家族みんなで楽しめる企画も盛りだくさん！秋の日曜日、自分にあった働き方、生き方を考えてみませんか？

日時 10月19日（日）12:30～16:30

会場 男女共同参画センター横浜

（横浜市戸塚区上倉田町435-1 JR・市営地下鉄「戸塚駅」下車）

\*入場無料、保育あり、手話通訳あり

プログラム内容

12:45 報告「男女共同参画社会の実現を目指して」

13:05 よこはまグッドバランス賞認定・表彰式

13:35 対談「仕事と生活のグッドバランスを目指して」

15:00 分科会

- ①先輩ワーキングマザーに聞く！「小1」の壁
- ②子育てパパカ（ぢから）アップ 子育てを楽しもう
- ③当事者支援の現場から、人身売買を考える
- ④家庭も仕事も楽しく両立するための再就職
- ⑤女性のための安全・安心護身術

主催 内閣府、横浜市、(財)横浜市男女共同参画推進協会、  
「みんなで育てるハマの子どもネットワーク協議会」  
ワーク・ライフ・バランス推進実行委員会

問合せ 横浜市市民活力推進局男女共同参画推進課  
電話 045-671-2017



### 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム

今年も、埼玉県嵐山町で、国立女性教育会館の主催で8月29日～31日に開かれました。

内閣府男女共同参画局長の坂東久美子さんから日本の最新の動きが話された後、未来へのメッセージがリレートークで話されました。その後のワークショップでは6つのテーマごとに57件のワークショップが実施されました。男女共同参画社会の形成のために、これから新しく取り組む必要のある分野や早く解決しなければならない課題を共に話し、情報交換をする場所として有効に活用されました。

## ちょっと勇気を出して、相談してみませんか・・・

### 女性総合相談

市民交流センターおあしすでは、「女性総合相談事業」を毎月2回実施しています。

2007年は、76件の相談がありました。そのうちの半分が配偶者との関係に悩む内容でした。特にDVに係る相談は、子育て支援課での相談件数を含めると、47件で、前年度の27件を大きく上回っています。DVに係わる相談は、件数の増加だけでなく内容も深刻化しており、長期にわたるカウンセリングや司法による支援が必要なケースもありました。また、DV相談以外にも、女性の生き方、人間関係、仕事、心と体、配偶者・パートナー、離婚、アルコール、子ども、家族、近隣、友人、職場などの相談が多く寄せられています。今、悩んでいる女性のみなさん、ひとりで悩んでいないで、まずは電話をして、「女性総合相談」の予約をして、相談員と話してみませんか！

相談状況 (件数)

区分	2006年	2007年
生き方・人間関係・仕事	1	2
心と体・性	2	16
配偶者・アルコール・離婚	20	24
子ども・親・親族	10	14
職場・近隣・友人・知人	2	0
DV・セクハラ・虐待	15	19
他機関との連携	0	1
計	50	76

\* 子育て支援課で受けたDV相談件数は、2006年12件、2007年28件。

### 女性総合相談

日時 毎月第2・4月曜日 午後1時から4時まで

会場 市民交流センターおあしす

\*982-9685（直通）へ事前に予約してください。（平日8:30～17:00）

\*相談員：母子自立支援員

\*日時が合わない、勤務先に近いなどの理由の方は、越谷市・草加市・三郷市・八潮市・松伏町での女性相談窓口も利用できます。詳しくは、各市町の担当課へお問い合わせください。

\*埼玉県婦人相談センターDV相談室

048-600-6060

\*緊急の時は、迷わず110番を



## こんなことはありませんか？

(DV事例より)

- ・ 夫(パートナー)は、突然、ささいなことで怒り出すことがある。
- ・ 自分の気に入らないことがあると、夫(パートナー)は、大声でののしる。
- ・ 子どもや妻などに手を上げる。
- ・ 夫(パートナー)は、怒って、物を投げる、物を壊す。
- ・ 夫(パートナー)は、人の話を無視する。
- ・ 夫(パートナー)が、嫌がると思えることは、自分自身でセーブし、自分がしたくても行わない。
- ・ 夫(パートナー)の承諾なしには、何も決められない。

夫(パートナー)が、暴力を振るった後、「二度としない」「すまない」と言われると、その言葉を信じて許してしまう。そして、しばらくして、また暴力が…。でも夫やパートナーがやさしいときもあるので、自分さえ我慢すればなんとか乗り越えられるかと考えてしまう。また、「悪いのはお前だ」と何かにつけて言われると、「確かにそうかも」とだんだん自分が悪いからだと思うようになるなど。夫(パートナー)との関係は、気づかないうちにコントロールされる関係になっていると言われています。だから暴力の被害を受けても、しかたないとあきらめてしまったり、きっといつか夫(パートナー)は、暴力を振るわなくなる…と、どこかで期待するのは、夫(パートナー)に、コントロールされているからこそその心理状態だと言われています。

**夫(パートナー)からの暴力はしかたないことでも、我慢することでもありません。**

**暴力を受けているあなたは悪くありません。**

**DVは、二人の間で解決する事は非常に困難です。**

**ひとりで悩まないで誰かに相談してください。**



住田裕子弁護士

# 人権啓発講演会

テレビでおなじみの 住田弁護士がお届けする！  
「次の世代へのメッセージ 今私にできること」

今の社会が抱える問題や身近な出来事を通じて、みんなが「人権」そして、いきいきと暮らせる社会について、一緒に考えてみませんか。豊富な経験と実績をもつ講師に分かりやすく、丁寧に、元気がでる楽しい話をさせていただきます。

日時 12月13日(土) 午後1時30分 開演  
会場 市民交流センターおあしす 多目的ホール  
入場無料 定員250名・託児・手話通訳あり

私たちの情報紙作成のお手伝いをいただける方を募集します。気軽に声をかけてください。

\* 題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。

発行 吉川市男女共同参画推進市民会議OB「笑がおの会」  
問合せ 吉川市市民参加推進課男女共同参画・文化交流担当  
〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1  
電話 048-982-9685 FAX 048-981-5682

